

2016年主要国首脳会議（サミット）について

平成28年に日本で開催される予定の主要国首脳会議（サミット）について、三重県での開催が決定しました。

1 経緯

- 平成26年8月20日 関係閣僚会合の誘致を表明
- 10月30日 「2016年みえ伊勢志摩サミット関係閣僚会合誘致推進協議会」を設立
- 平成27年1月21日 首脳会議の誘致を表明
 - 雇用経済部に「サミット誘致推進プロジェクトチーム」を設置
- 2月13日 「2016年みえ伊勢志摩サミット誘致推進協議会」に名称変更
- 3月10日 国への要望活動
- 3月17日 三重県議会で「2016年主要国首脳会議の三重県開催を求める決議」可決
 - (※3月、4月に、9市町議会で三重県（志摩市）開催を求める決議を可決)

2 現状

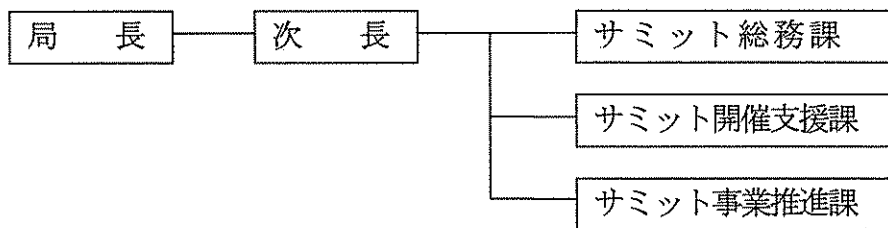
(1) 開催決定

6月5日（金）に安倍首相が、三重県伊勢志摩での開催を発表されました。

(2) 組織体制

三重県での開催が決定したことを受け、本日（6月8日（月））、雇用経済部内にみえ伊勢志摩サミット推進局を設置しました。

局長、次長のもとに3課を設置し、計16名の職員を配置しています。開催準備の進捗状況を踏まえながら、順次、人員を拡充していきたいと考えています。



3 今後の対応

サミットという最高峰の国際会議の開催は、国際観光地としてのレベルアップだけでなく、国内外の人々に対する本県の知名度を向上させる絶好の機会であり、地域の総合力向上にもつながります。

今後、サミットの開催に向け、誘致推進協議会を発展させた形で、「みえ伊勢志摩サミット県民会議（仮称）」（※）を設立し、官民一体となった三重県全体の受け入れ体制を確立します。併せて、市町や関係団体等と連携し、「開催支援」に取り組むとともに、サミットを一過性に終わらせることなく、地域の総合力の向上につなげるため、「おもてなし」、「明日へつなぐ」、「三重の発信」を柱に、サミット開催に向けた全県的な取組を展開します。具体的な取組については、「みえ伊勢志摩サミット県民会議（仮称）」で議論し決定してまいります。

※みえ伊勢志摩サミット県民会議（仮称）

(1) 設立について

地方創生のシンボリック的存在となるサミットの成功を期し、官民一体となった三重県全体の受け入れ態勢を確立するとともに、併せて関連する事業に取り組むことを目的に設立。

(2) 組織体制について

「2016年みえ伊勢志摩サミット誘致推進協議会」の構成員団体に加え、さらに幅広い関係者の方々にご参画いただくことを予定。

(3) 名称について

サミットの名称が正式に確認でき次第、会議の名称を正式決定。

（「みえ伊勢志摩サミット」から正式名称に変更）